届出番号　１２Ｂ２Ｘ１００１１０００００６９

２０２５年１０月２２日（第3版）
*２０２６年１１月０５日（第４版）

アネロイド式血圧計

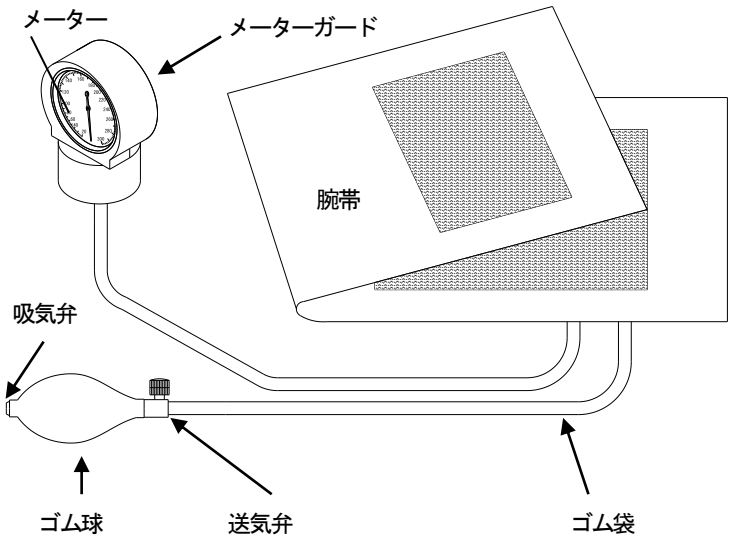
一般医療機器
ＪＭＤＮ：１６１５６０００

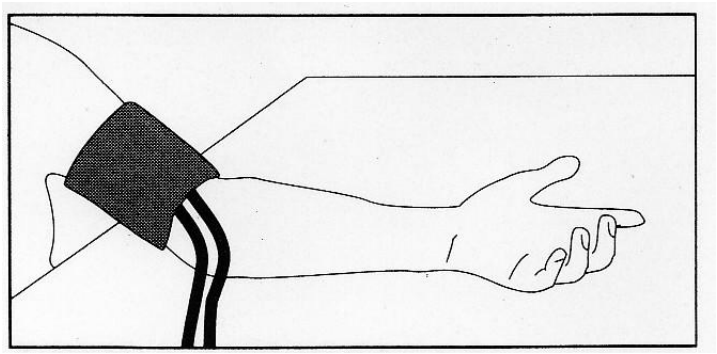
アネロイド式血圧計Ⅱ耐衝撃型

[禁忌・禁止]

本品に強い衝撃（落下等）を加えないで下さい。故障の原因になります。ゴム球、ゴム袋は天然ゴムで出来ています。天然ゴムにアレルギー反応のある方に重篤な症状を引き起こす恐れがあります。ご使用はお控えください。

[形状・構造及び原理等]





［原理］　腕周に巻きつける加圧可能なカフへ空気圧を加え、その圧力をメーターにて表示し減圧時に聴診法によりコロトコフ音を確認し血圧値を確認する。

メーター	直径５２㎜　亜鉛合金
銘板	２０～３００mmHg（２０mmHg 毎に数値表示）
腕帯	14×52cm　綿、*又はﾚｰﾖﾝ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ混紡（上腕適正サイズ 22～32cm） 又は 14x54cm ﾅｲﾛﾝ（上腕適正サイズ 26～38cm）
ゴム袋	１２×２２cm　ラテックス
ゴム球	ラテックス
送気弁、吸気弁	真鍮クロームメッキ　２～３mmHg／秒の減圧が可能
メーターガード	天然ゴム　合成ゴム

[使用目的又は効果]

本品は、腕周に巻きつける加圧可能のカフ、カフ内の空気圧を調整する弁、アネロイド式圧力計から構成されている。

メーターの精度は、誤差±３mmHg 以内

JIS　T 4203-2012 に該当

[使用方法等]

１．上腕が心臓の高さぐらいになるように、軽く曲げて水平な台の上に置き、掌を開き上に向けます。　（図１）

２．腕帯を上腕部に巻き、ベルクロで留めます。聴診器は脈音の最もよく聞こえる位置にあてて下さい。送気弁を締め、ゴム球を圧して腕帯へ空気を送り、圧力を加えます。

３．加圧し目盛を上げると脈拍音が聞こえ始めます。やがて、脈拍音が聞こえなくなりますが、目盛がさらに 20～30 mm/Hg 上がるまで加圧します。

４．次に、送気弁のネジを少しゆるめ徐々に空気を抜き、目盛を下げてゆきます。再び脈拍音が聞こえ始めた瞬間、すばやくネジを締めて目盛を読んでください。これが最高血圧値です。

５．さらに、ネジを少しずつゆるめて、脈拍音が遠くなるまで圧力を下げます。次第に脈拍音が小さくなり聞こえなくなったら、ネジを締めて目盛を読んでください。これが最低血圧値です。

[使用上の注意]

１．使用前に、メーターの針が正確に 0mm/Hg（又は±3mm/Hg）を指していることを確認してください。

２．血流を制限し、危害をもたらす恐れがありますので、必要以上に長い間、膨らんだ腕帯を上腕部に巻き続けたままにしないでください。

３．大人以外の小さい子供及び幼児・乳児の血圧を測定する場合、何らかの起きるかもしれないトラブルを避けるため、事前に医師に相談してください。

４．使用しないときは、腕帯から完全に空気を抜いてから保管してください。

５．精密機器のため、落下・衝撃等の乱暴な取り扱いはしないでください。

６．高温、多湿、直射日光は避けて保管してください。

７．ラテックス製部品（ゴム袋、ゴム球）はアレルギーのある方には非常に危険な症状を引き起こすことがあります。決してご使用にならないでください。

【保管方法及び有効期間】

使用環境：温度 10℃-40℃　　湿度 30%-75%（結露無し）

保管環境：温度-5℃-50℃　　湿度 30%-85%（結露無し）

高温多湿、直射日光は避けて保管してください。

標準的な使用期間の目安：３年　　（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

《保守点検》

・製品に傷等が無いこと、正しい指示値を示していること。

《清掃》

・汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。

・シンナー等有機溶剤は表面を傷めますので使わないでください。

[製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等]

製造販売業者名　株式会社　三　　恵
住　　所　千葉県市原市八幡海岸通１９６９－３３，３４
電 話 番 号　０４３６－４１－１８２０